

内容をご熟読ください。

取扱・取付説明書

**HORNET<sup>®</sup>**  
**Auto Security Systems**

**車種限定キーレス連動モデル**

**362V**

「安心と安全を次の世代に」

**KATO-DENKI**

GYZ-23421

# はじめに

---

この度はホーネット362Vををお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前に本書記載の取扱方法や注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でご使用ください。なお、本書には保証書が添付されています。大切に保管してください。

車種限定の純正キーレス連動モデルです。ロック/アンロック操作に連動してホーネットが作動/解除します。作動中は、車上荒しや車両盗難の手口を検知し、音と光で周囲に異常を知らせ犯行を抑止するものです。本製品は、取り付けが伴う製品です。電装、防犯知識のあるカー用品店や電装店、カーセキュリティ専門店で施工してください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記載もれなどお気づきの点がありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2023年7月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている製品仕様、デザインは、性能向上のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® は加藤電機株式会社の登録商標です。

KATO-DENKI 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の登録商標または商標です。

# 目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
製品の特長	7
製品の説明	7
ホーネット362Vとは	7
本書に出てくる用語の解説	7
同梱物をご確認ください。	8
ホーネット362Vの同梱物	8
基本的な操作方法	9
ホーネットの操作方法について	9
ホーネット作動(通常)	9
ホーネット作動(コンビニモード)	9
ホーネット解除(警報なし)	10
ホーネット解除(警報あり)	10
パレーモード	10
ダイアグノスティック機能(ゾーンID)	11
強制解除	11
ロングタームイベントヒストリー	11
センサー・トリガーの特長	12
インスタントトリガー(ゾーン1)	12
2段階衝撃センサー(ゾーン2)	12
ドアトリガー(ゾーン3)	12
センサーポート(ゾーン4)	12
イグニッションONセンサー(ゾーン5)	12
その他の機能・オプション	13
確認音	13
警告音	13
警報(シングルトーンサイレン:最大音量約128dB)	13
ライトフラッシュ(オプション)	13
迷惑防止機能(NPC)	13
取り付けに関して	14
接続全体図	14
メインユニットの取り付け、内蔵2段階衝撃センサーの感度調整	15
動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)の取り付け	15
サイレン出力線の接続	16
サイレンの固定・設置	16
CANハーネス(655C)の接続	17
OBD2電源ハーネスの接続	17
ホーン配線の接続(オプション)	18
システム作動出力線の接続(オプション)	18
ライトフラッシュ線の接続(オプション)	18
インスタントトリガーの接続(オプション)	18
車両学習(シンクロ)について	19
ホーネット362Vの動作チェック	20
トラブルシューティング、製品仕様	21
アフターサービスについて	22
アフターサービスについて/セキュリティラウンジあんしんサポートについて	22
保証書について/修理を依頼されるときは/お問い合わせ先	22
保証規定	23

# お取り扱い上の注意

---

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



## 危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



## 警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



## 注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



## 禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



## ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



## 強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

# お取り扱い上の注意

## 安全上の注意



### 危険

- 本製品は、D.C.12V車両専用です。製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



### 警告

- エンジンルーム内に車外アラームを取り付けしたままエンジンを洗浄しないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- 本製品の取り付けには正しい車両電装知識が必要です。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障などが発生しても当社では責任を一切負いかねます。
- 本製品を故意に分解・改造は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切していません。
- 本製品は大音量のアラームを使用しています。人やペットが近くにいる時に鳴らさないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



### 注意

- 万一、車上荒らしや車両盗難が発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計ですが、車両の使用・整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご利用されない場合などは特に注意してください。
- 本製品のセンサー検知による警告音、警報は、周囲に異常を知らせるため効果的な大音量で鳴るため騒音などにならないよう、センサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で調整してください。
- 取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りの取付店にお問い合わせください。

# お取り扱い上の注意

## 使用上の注意



### 禁止

- 本製品のメインユニットや付属のハーネスを傷つけたり、破損・加工・無理に引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがありますので注意してください。



### 必ずお読みください。

- 車種限定  
本製品は、車種適合表に掲載されている車種のみに取り付けすることができます。掲載されていない車種への取り付けはできません。また、マイナーチェンジや仕様変更など、車種適合表に掲載されていても対応しない場合があります。
- 本製品は、車両盗難、車上あらしなどを抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- 2段階衝撃センサーは、メインユニットを取り付けする位置や車両の剛性などによって感度が大きく変わります。
- 動作テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計がされていますが、長期の連続使用や環境、車両整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合などは特に注意してください。
- 本製品の動作に関わらず、犯罪・事故が発生しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 地震、雷、風水害および火災、その他の事故および損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用にて生じた付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社では製品を長く安心してご利用いただくため、セキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めしています。ご登録いただきますと、製品保証の延長を受けることができます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年です。安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンスにより機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸出などは一切行っておりません。
- 検査、修理時に発生した工賃などの諸費用はおお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

# 製品の特長

## 製品の説明

### ホーネット362Vとは

車上荒らしや車両盗難から車両を防犯することができる車種限定の純正キーレス連動タイプのカーセキュリティ製品です。純正キーレスのロック/アンロック操作に連動してホーネットが作動/解除します。

ホーネット作動中は、搭載しているセンサーにより車両への犯行手口を検知することができます。検知時には、警告音「ピッピッピッ・・・」や警報「30秒間のサイレン」を鳴らし、犯人を威嚇します。

### 本書に出てくる用語の解説

#### 警告／警報

センサーやトリガーが車両の異常を検知した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

##### 警告

サイレンからの音 : ピッピッピッピッピッ・・・(3秒間ほど)

##### 警報

サイレンからの音 : ビーッビーッビーッ・・・(30秒間ほど)

#### 確認音

ホーネットの操作を行うときに鳴る音を示します。また、ホーネットの作動/解除の時に鳴る音を確認音と呼びます。

確認音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各説明案内をご覧ください。

#### センサー

ホーネット作動中に車両への犯行手口を検知するセンサーやトリガーのことです。

##### 2段階衝撃センサー

車体に加わる振動を2段階で検知することができるセンサーです。ガラス割りなどの車上荒しを検知することができます。弱い衝撃には、警告音、強い衝撃には警報を鳴らすことができます。

##### イグニッションONセンサー

不正なエンジン始動を検知し、警報を鳴らします。

##### ドアトリガー

ドアこじ開けを検知して警報を鳴らします。

##### インスタントトリガー(オプション)

オプションセンサーやボンネット、トランクこじ開けを検知して警報を鳴らします。

#### 動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)

ホーネット作動中に点滅、解除時は消灯、センサー検知時などは点滅回数が増える赤色のLEDの点滅を示します。

同梱物をご確認ください。

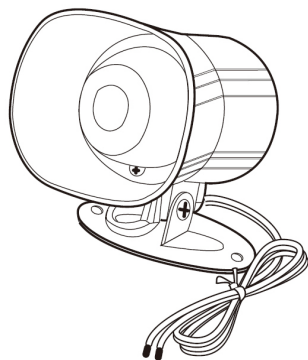
## ホーネット362Vの同梱物

設置前に必ず下記の同梱物をご確認ください。

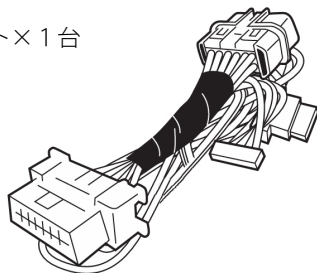
### ホーネット362V



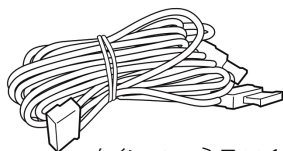
メインユニット×1台



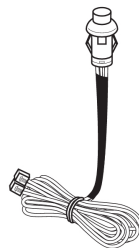
シングルトーンサイレン×1個  
(型式:514S)



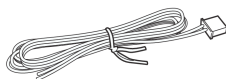
OBD2接続コネクタ付ハーネス×1個



メインハーネス×1束



動作確認LED付  
プログラムスイッチ(赤)×1個  
(型式:8606)



CANハーネス×1個  
(型式:655C)

#### その他

- ・防犯ステッカー×2
- ・全国自動車用品工業会自主基準登録証×1
- ・確認チェックシート×1
- ・本説明書×1
- ・保証書(説明書に付属)
- ・取り付け部材(両面テープなど)

※防犯ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。

側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。

※本製品の仕様およびデザインは性能向上などのため、予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。



# 基本的な操作方法

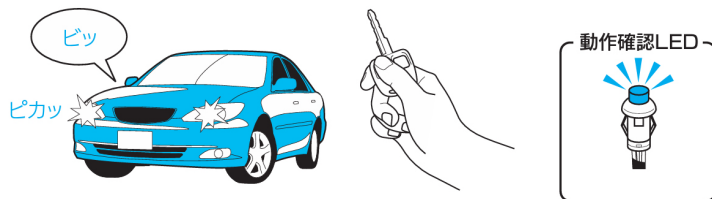
## ホーネットの操作方法について

ホーネットの操作は、純正のキーレスエントリーリモコン（以下リモコン）のロック/アンロック操作によって行います。リモコンの種類によって操作方法が異なります。詳しくは、車両付属の取扱説明書をご参照ください。

## ホーネット作動（通常）

### 操作方法

- 1 エンジン停止後、車両から降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンのロックボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 「ピッ」と確認音が1回鳴りホーネットが作動したことを知らせます。
- 4 ホーネット作動中は、動作確認 LED（赤）が点滅します。



### ヒント

- ホーネット作動時の確認音「ピッ」の後にもう一度「ピッ」と確認音が鳴る場合は、センサーが検知しています。動作確認 LED は、検知したセンサーのゾーン ID (P.11) を示した回数点滅します。
- センサー検知終了後にセンサーは自動復帰しますが、2段階衝撃センサーやドアトリガーが正常に作動しない場合は、センサー感度や取り付け状態を確認してください。詳しくは取付店にお問い合わせしてください。

## ホーネット作動（コンビニモード）

ホーネットを作動する時に、リモコンの操作によって特定のセンサーをキャンセルすることができます。コンビニモードは、ホーネットを解除すると同時にリセットされるため、駐車環境に合わせたセンサーのご利用が可能です。

### 操作方法

操作方法	確認音	作動状態
ロックボタンを1回（1秒ほど）押す	1回	ホーネット作動（通常）
3～7秒以内に再度ロックボタンを押す	3回	ホーネット作動（2段階衝撃センサーキャンセル）

### ヒント

- 車種によっては、コンビニモードがご利用になれない場合があります。
- センサーポートに追加したオプションセンサーもホーネット作動（コンビニモード）中はキャンセルされます。

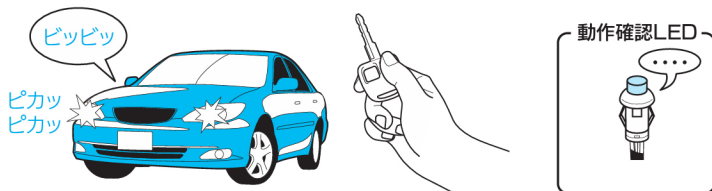
# 基本的な操作方法

## ホーネット解除(警報なし)

作動中のホーネットをリモコン操作で解除することができます。

### 操作方法

- 1 リモコンのアンロックボタンを1回(1秒ほど)押します。
- 2 「ピッピッ」と確認音が2回鳴りホーネットが解除したことを知らせます。
- 3 ホーネット解除中は、動作確認 LED は消灯します。



## ホーネット解除(警報あり)

ホーネット解除時に、センサーが検知して警報していたことを確認音で確認できます。

### 操作方法

- 1 リモコンのアンロックボタンを1回(1秒ほど)押します。
- 2 「ピッピッピッピッ」と確認音が4回鳴りホーネットが解除したことを知らせます。
- 3 動作確認 LED が最後に検知したセンサーのゾーン ID を点滅回数で知らせます。

### ヒント

- 警報中にアンロックした場合は、警報が止まります。(ハイセキュリティ解除)もう一度アンロックすることでホーネットが解除します。
- センサーのゾーン ID は、P.11をご参照ください。

## バレーモード

ホーネットを作動しないようにするモードです。車検などで車両を預ける場合にセキュリティ機能が必要なければ、バレーモードに設定してください。

### 操作方法

- 1 イグニッションを ON にしてからすぐに OFF にします。
- 2 10秒以内に動作確認 LED 付プログラムスイッチを1回(1秒ほど)押します。
- 3 動作確認 LED が点灯し、バレーモードが ON になったことを示します。

### ヒント

- エンジン作動中(イグニッション ON)は、動作確認 LED はバレーモード中であっても消灯します。
- バレーモードの設定操作を行うたびにバレーモード ON/OFF が繰り返されます。
- バレーモード ON: 動作確認 LED が消灯→点灯になります。
- バレーモード OFF: 動作確認 LED が点灯→消灯になります。



# 基本的な操作方法

## ダイアグノスティック機能 (ゾーンID)

警報履歴がメモリーされています。ホーネットを解除した時の確認音と動作確認LEDの点滅回数でセンサーの検知状況を確認することができます。

ホーネット状況	ゾーンID	センサー・トリガー	動作確認LED点滅回数
ホーネット解除時	1	インスタントトリガー	1回点滅繰り返し 
	2	2段階衝撃センサー	2回点滅繰り返し 
	3	ドアトリガー	3回点滅繰り返し 
	4	オプションセンサー	4回点滅繰り返し 
	5	イグニッションONセンサー	5回点滅繰り返し 

### ヒント

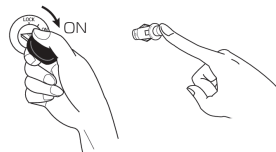
イグニッションON (エンジン始動) 操作を行うと、ダイアグノスティック機能はリセットされます。

## 強制解除

リモコン紛失や電池切れなど何らかの理由でホーネットを解除できなくなった時に強制的にホーネットを解除することができます。

### 操作方法

- 1 イグニッションキーをONにします。
- 2 5秒以内にプログラムスイッチを1回(0.3秒ほど)押します。
- 3 ホーネットが解除します。



### ヒント

- 強制解除には、プログラムスイッチを使用します。取付店に固定位置を納車説明時に確認してください。
- ホーネット作動中にドアを開けるため警報します。落ち着いて強制解除操作を行ってください。
- 強制解除操作を間違えた場合は、最初からやり直してください。
- ステップ2のプログラムスイッチを押す時間が長い(1秒など)場合は、強制解除できません。
- 強制解除でのホーネット解除時は、ダイアグノスティック機能はリセットします。

## ロングタームイベントヒストリー

最新の警報履歴を動作確認LEDの点滅回数によって、過去2回まで確認することができます。

### 操作方法

- 1 プログラムスイッチを押し続けます。
- 2 イグニッションキーをONにします。
- 3 押し続けていたプログラムスイッチを離してから1回(1秒ほど)押します。
- 4 動作確認LEDが点滅し、最新の警報履歴を示します。



### ヒント

60秒経過するか、イグニッションキーをONにすると動作確認LEDは消灯します。

# センサー・トリガーの特長

## インスタントトリガー（ゾーン1）

オプション

ボンネットのこじ開け、トランクのこじ開け、センサーオプションなど防犯機能を拡張するためのトリガーです。

詳しくは取付店にお問い合わせください。

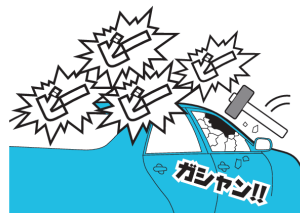
## 2段階衝撃センサー（ゾーン2）

強い振動を検知することができます。ガラスを叩くなどの振動を2段階で検知できます。弱い振動には警告音、強い振動には警報します。



ヒント

メインユニット（内蔵2段階衝撃センサー）を設置した周辺の振動を検知できます。



## ドアトリガー（ゾーン3）

ドアのこじ開けを検知することができます。運転席、助手席、左右リア、バックドアなどが開けられた場合に警報します。

安全装置として使用する時は、リモコン追加や機能設定変更の際に使用します。

詳しくは取付店にお問い合わせください。



ヒント

車種によっては、別途取り付けが必要な場合があります。詳しくは、取付店にお問い合わせください。



## センサーポート（ゾーン4）

オプション

センサーを追加して防犯強化することができます。

## イグニッションONセンサー（ゾーン5）

ホーネット作動中に不正なエンジン始動を検知して警報します。



ヒント

純正・市販のエンジンスターターと併用することはできません。



## その他の機能・オプション

### 確認音

ホーネットの作動/解除の時に鳴る確認音です。音の回数でシステムの状態を知ることができます。

### 警告音

2段階衝撃センサーが弱い振動を検知した時や2段階超音波センサーが警戒レベル弱で検知した時に警告音を鳴らします。「ピッピッピッピッ・・・」(約3秒間)と音が鳴ります。

### 警報(シングルトーンサイレン:最大音量約128dB)

ホーネット作動中にセンサーが検知すると大音量の警報が約30秒間鳴ります。



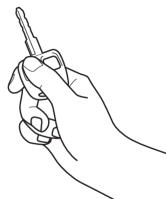
### ライトフラッシュ

オプション

ホーネットの作動/解除の時、警告、警報時に車両のハザードランプを点滅させることで、視覚的にも犯人を威嚇することができます。

#### 注意

- 車種によりオプションのライトフラッシュリレー525T(別売)やソレノイドリレー451M(別売)が必要になります。



### 迷惑防止機能(NPC)

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できる機能です。

- 同じセンサーが60分以内に3回警報を鳴らした場合、60分間そのセンサーをキャンセルします。
- キャンセル中に同じセンサーが検知した場合、その時点からさらに60分間キャンセルします。

#### ヒント

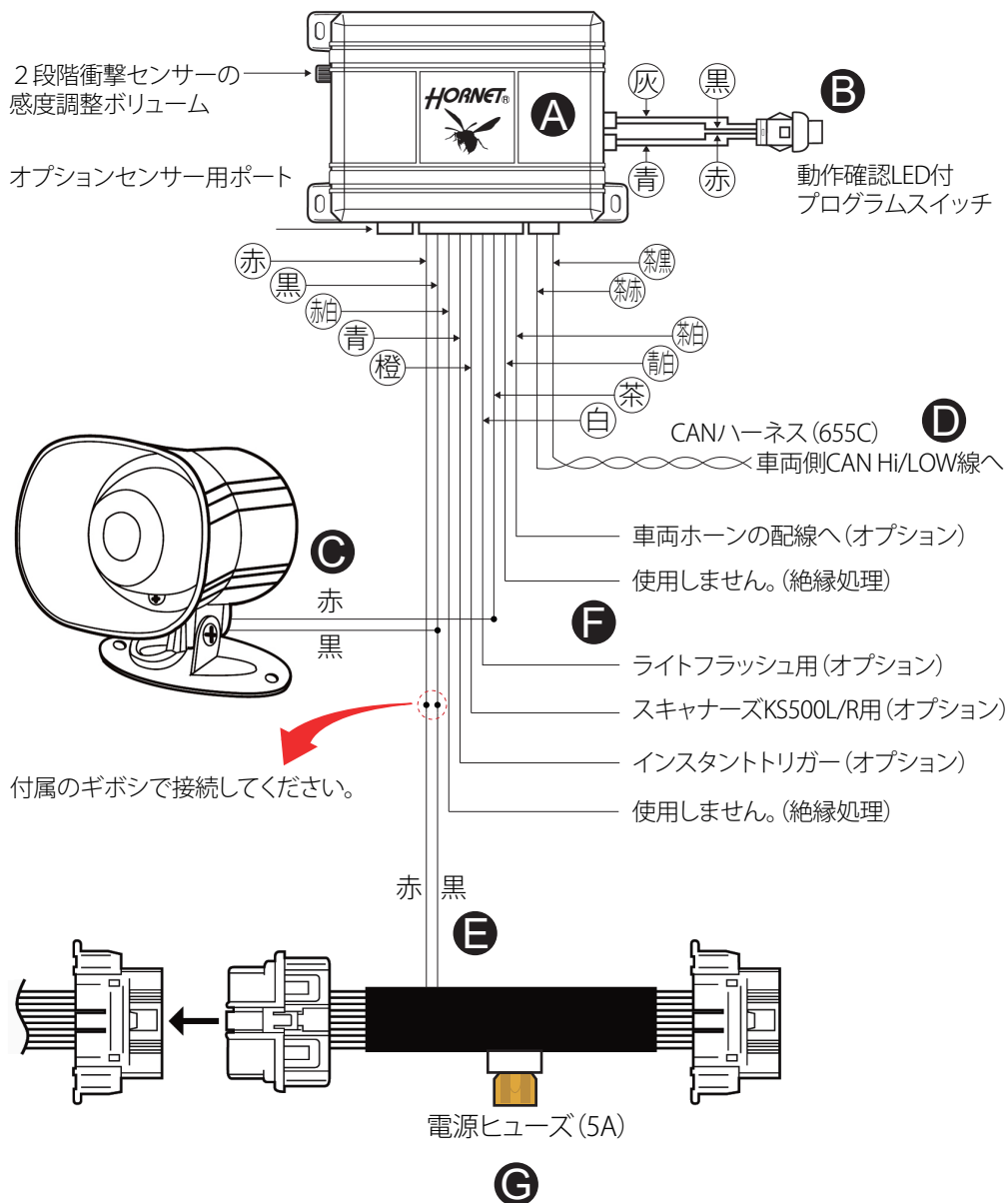
- 迷惑防止機能(NPC)作動中にホーネットを解除すると、「ピッピッピッピッピッ」と確認音は5回鳴ります。
- エンジン始動(イグニッションON)すると迷惑防止機能(NPC)はリセットされます。
- ドアトリガーは迷惑防止機能によりキャンセルしません。

# 取り付けに関して

## 接続全体図

メインハーネスおよび各コネクタを図のように接続、取り付けします。

メインユニット

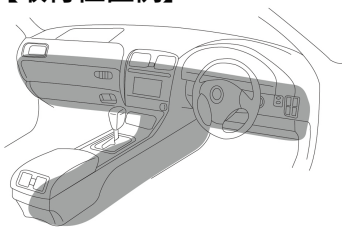


# 取り付けに関して

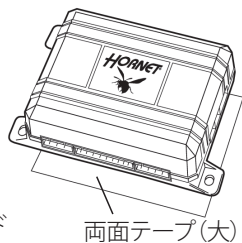
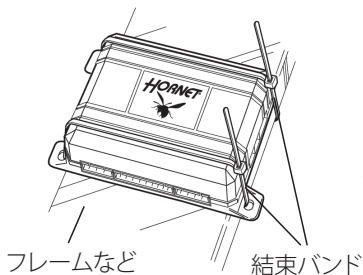
## A メインユニットの取り付け

### 【取付位置例】

結束バンドと両面テープを併用することを推奨します。



このエリアに取り付けします。

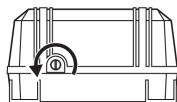
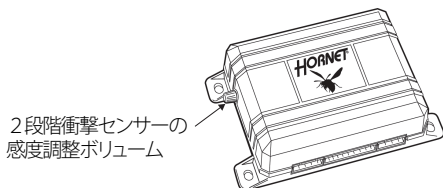


禁止

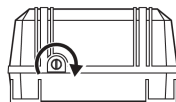
- 本製品の動作保証温度は、 $-40^{\circ}\text{C}\sim+85^{\circ}\text{C}$ です。いたずら防止や安全装置保護、走行の妨げを防止するためエンジンルーム内やフロントガラスおよびリアガラス直下などの直射日光が当たる場所に設置しないでください。
- 運転席の足元(ペダルの裏など)、車両コンピューターやカーナビ、オーディオなどの電装品に近いところ、エアコンのダクトなどへ固定は絶対にしないでください。

## 内蔵 2 段階衝撃センサーの感度調整

調整方法 内蔵の2段階衝撃センサーの感度調整ができます。



感度を下げる場合は、左に回します。



感度を上げる場合は、右に回します。

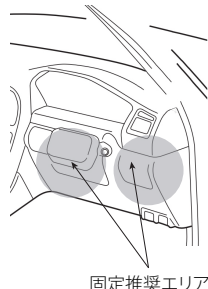
## B 動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)の取り付け

動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)は、運転席まわりなどの固定推奨エリアに設置してください。

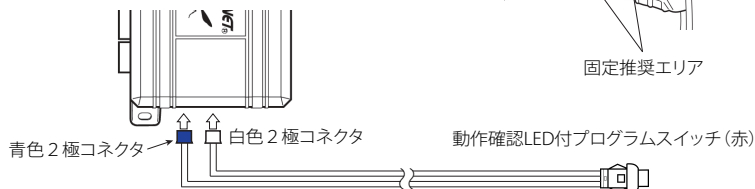
### 【取付位置例】

#### 【設置・固定の流れ】

- ①動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)を固定推奨エリアに設置します。
- ②ハーネスを取りまわして白色2極コネクタをメインユニットの白色2極カプラーに接続します。
- ③ハーネスを取りまわして青色2極コネクタをメインユニットの青色カプラーに接続します。



固定推奨エリア

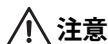
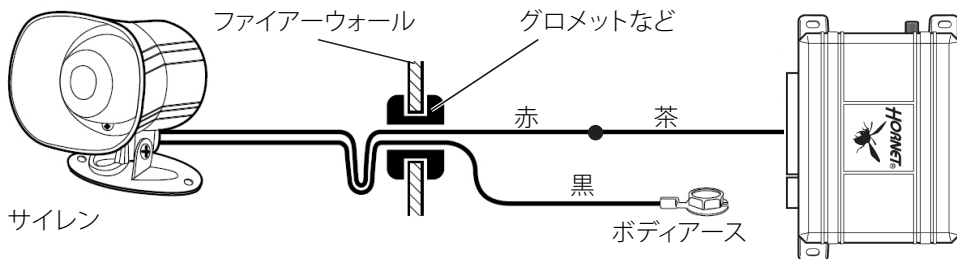


# 取り付けに関して

## C サイレン出力線の接続

### 茶 (+) サイレン出力線

配線を車内に引き込んだ後、サイレンの赤線をメインユニットの茶線に接続します。サイレンの黒線は、市販のくわ型端子などを使用して車体のボディアースにボルト止めます。



**注意**

エンジンルームから車内へ配線を通す際は、車内への水分などの浸入を防ぐため配線を貫通口の手前でたるませてから通してください。

## C サイレンの固定・設置

サイレン取り付けスペースを確認します。

車外アラームは次の条件を満たす場所に設置してください。

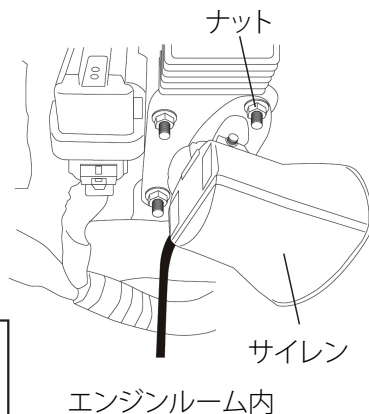
- 雨天時、走行時などでも水・油分のかからないところ
- 熱源（エンジン本体、排気系など）から30cm以上離れ、高温にならないところ
- 駆動部の妨げにならないところ
- 警報音の妨げられないところ（車内に設置する場合でも音が外に抜けるところ）



**注意**

- サイレンは、 $-40^{\circ}\text{C}$ ～ $+125^{\circ}\text{C}$ の動作を保証していますが、熱源（エンジン本体、排気系部品など）から30cm以上離れた高温にならないところに設置してください。
- サイレンが周辺部品に干渉していないか確認してください。
- 可動部にハーネスが接触していないか確認してください。

### 【サイレン取付例】



**ヒント**

- サイレンは固定金具部をボルトやナットを使用して確実に固定してください。
- スピーカー面をできる限り下向きに設置してください。上を向いていると水・油分が浸入して故障する可能性があります。



# 取り付けに関して

## D CANハーネス (655C) の接続

### 茶/赤 CAN Hi専用線

車両側のCAN Hの配線に接続します。

### 茶/黒 CAN Low専用線

車両側のCAN Lの配線に接続します。

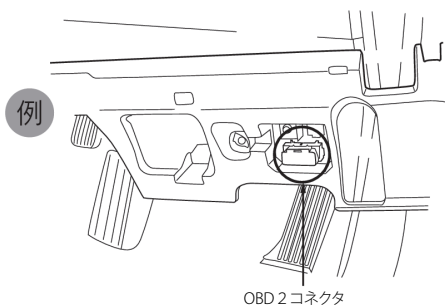
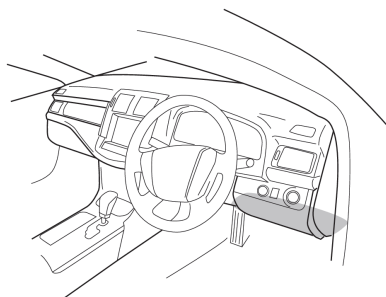


### ヒント

車種ごとにCAN配線の接続先は異なります。接続は、電装知識のある取付店に依頼してください。

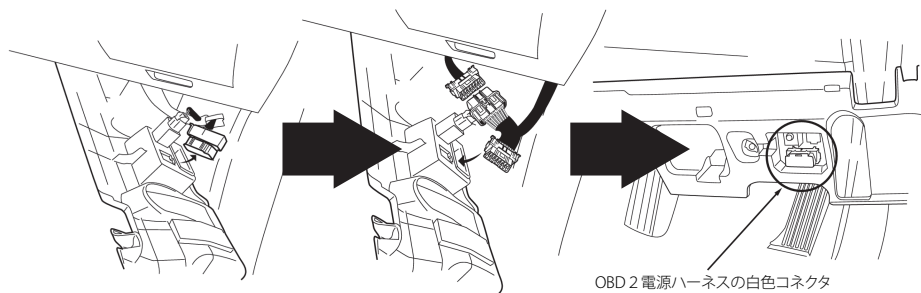
## E OBD 2 電源ハーネスの接続

運転席周辺にOBD 2 コネクタがあります。



OBD 2 コネクタ

パネルを外し、パネルからOBD 2 コネクタを取り外し、OBD 2 電源ハーネスの白色コネクタを差し込みます。

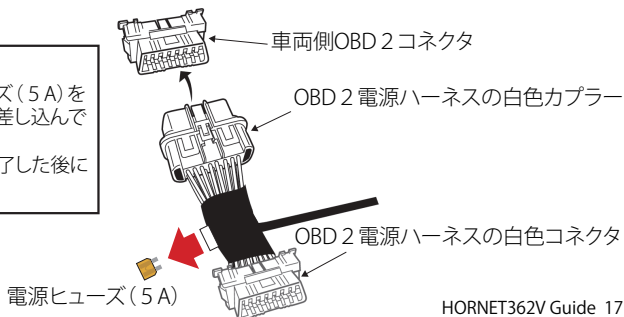


OBD 2 電源ハーネスの白色コネクタ

車両側のOBD 2 コネクタにOBD 2 電源ハーネスの白色カプラーを差し込みます。

### 注意

- OBD 2 電源ハーネス付属の電源ヒューズ (5 A) を抜いた状態で車両側のOBD2コネクタに差し込んでください。
- 電源ヒューズ (5 A) は、すべての配線が完了した後に差し込み電源投入してください。



# 取り付けに関して

## F ホーン配線の接続

オプション

### 茶/白 (－) ホーン出力線 (200mA)

警告、警報時に車両クラクションを鳴らすことができます。  
車種によってはオプションの525T単線方式リレー (別売) が必要になる場合があります。  
※詳しくは取付店にお問い合わせください。

## F システム作動出力線の接続

オプション

### 橙 (－) システム作動出力線 (500mA)

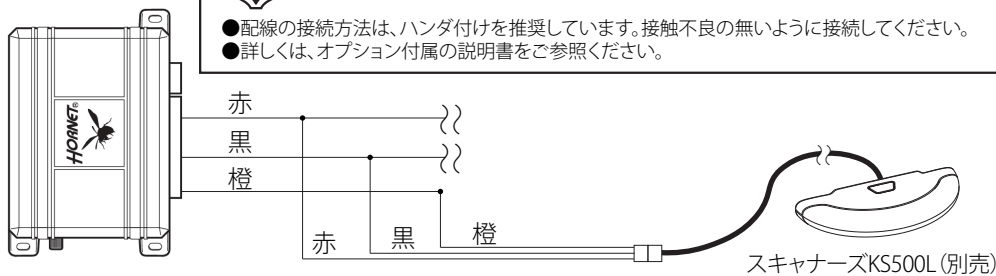
オプションのスキャナーズKS500L (青) もしくはスキャナーズKS500R (赤)、アクリルスキャナー640HLなどを追加することができます。ホーネット作動中は、スキャナーが点灯し、周囲にカーセキュリティ装着車であることを知らせることができます。

#### 接続方法



#### ヒント

- 配線の接続方法は、ハンダ付けを推奨しています。接触不良の無いように接続してください。
- 詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。



## F ライトフラッシュ線の接続

オプション

### 白 (－) ライトフラッシュ出力線 (200mA)

警告時や警報時に車両ライトを点滅し、周囲に異常を知らせることができます。車種により別途オプションが必要になる場合があります。  
ライトフラッシュリレー525T (別売) やソレノイドリレー451M (別売) を追加できます。  
※詳しい接続方法は、オプション付属の説明書をご参照ください。

## F インスタントトリガーの接続

オプション

### 青 (－) インスタントトリガー入力線

ボンネットこじ開けやトランクのこじ開けを検知することができます。車種によってはオプションのピンスイッチ (別売) やマグネットスイッチ (別売) が必要になる場合があります。  
※詳しい接続方法は、オプション付属の説明書をご参照ください。

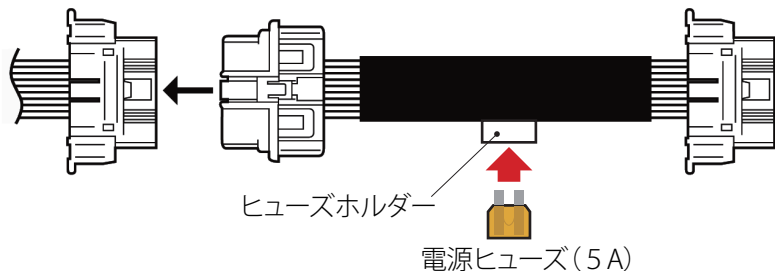
# 取り付けに関して

## G 車両学習(シンクロ)について

すべての取り付けが完了しましたら、車両学習（シンクロ）を行ってください。

### 学習方法

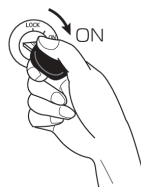
- 1 電源ヒューズ(5 A)をヒューズホルダーに差し込みます。



- 2 動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)が2回点滅した後に3秒ごとに点滅します。



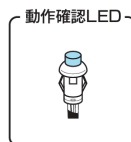
- 3 1分以内にイグニッションONにします。



- 4 動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)が早点滅の後、消灯します。



早点滅



消灯

### ヒント

- 動作確認LED付プログラムスイッチ(赤)が消灯せずに30秒ほど経過する場合は、車両側へのCANハーネス(655C)の接続先が間違っているか、接触不良が発生している可能性があります。詳しくは、取付店にご相談ください。

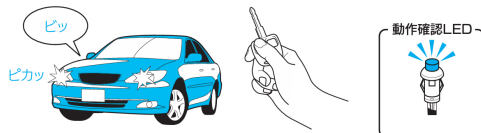
- 5 学習完了です。

# 動作チェック

## ホーネット362Vの動作チェック

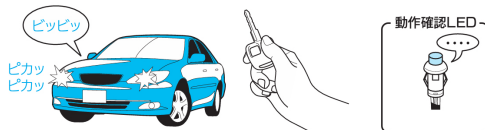
### ホーネットの作動

- 1 エンジンを停止して、すべてのドアを閉めます。
- 2 純正キーレスエントリーリモコンでドアをロックします。
- 3 「ピッ」と確認音が1回鳴り、ホーネットが作動します。
- 4 動作確認LED(赤)が点滅します。



### ホーネットの解除

- 1 純正キーレスエントリーリモコンでドアをアンロックします。
- 2 「ピッピッ」と確認音が2回鳴り、ホーネットが解除します。
- 3 動作確認LED(赤)は、消灯します。



### 2段階衝撃センサー

- 1 ホーネットが作動してから5秒待ちます。
- 2 運転席側の窓ガラスを弱く叩き「ピッピッピッ・・・」と警告音が鳴ることを確認します。
- 3 運転席側の窓ガラスを強く叩き「ビーッビーッビーッ・・・」と警報が鳴ることを確認します。

### ドアトリガー

- 1 ホーネットが作動してから5秒待ちます。
- 2 純正キーレスエントリーリモコンのメカニカルキーを取りだします。
- 3 運転席ドアのキーシリンダーをメカニカルキーでアンロックしてドアを開けます。
- 4 「ビーッビーッビーッ・・・」と警報が鳴ることを確認します。

### イグニッションONセンサー

- 1 運転席シートに座り、エンジンを停止して、すべてのドアを閉めます。
- 2 純正キーレスエントリーリモコンでドアをロックします。
- 3 ホーネットが作動してから5秒待ちます。
- 4 イグニッションキーをONにします。
- 5 「ビーッビーッビーッ・・・」と警報が鳴ることを確認します。
- 6 イグニッションキーをOFFにします。

### 📖 ヒント

- センサー・トリガーの動作チェック後は、純正キーレスエントリーリモコンでドアをアンロックして警報を止めてください。アンロック操作に連動してホーネットが解除します。
- 強制解除やバレーモード、その他の機能など本説明書をご確認の上、動作チェックを行ってください。

### ⚠️ 注意

- 動作チェックは、近所迷惑にならない場所で行ってください。

# トラブルシューティング、製品仕様

## トラブルシューティング

症状と原因	対策
<b>ホーネットが作動しない</b> ・動作確認LEDが点灯している。 ・半ドアなどドアが開いている ・純正リモコンの電池が切れた	・バレーモードがONになっています。OFFにしてご利用ください。(P.10参照) ・ドアを閉めてから操作してください。 ・純正リモコンの電池を交換してから操作してください。
<b>ホーネットが解除しない</b> ・純正リモコンの電池が切れた	・純正リモコンの電池を交換してから操作してください。 ・強制解除の操作でホーネットを解除してください。(P.11参照)
<b>2段階衝撃センサーが反応しません</b> ・ホーネットが作動してから5秒待っていない ・感度が低い ・迷惑防止機能(NPC)が作動している	・ホーネットを作動して5秒経過してから確認してください。 ・2段階衝撃センサーの感度調整を行ってください。(P.15参照) ・ホーネットを解除してから、エンジン始動(イグニッションON)にして迷惑防止機能(NPC)をリセットしてください。(P.13参照)
<b>勝手に警報が鳴る</b> ・メインユニットの固定が不十分 ・2段階衝撃センサーの感度が高すぎる	・メインユニットを確実に固定してください。 ・2段階衝撃センサーの感度調整を行ってください。(P.15参照) ・警報が鳴っている原因を警報履歴(ロングタームイベントヒストリー)で確認後、検知しているセンサー、トリガーの状態、感度設定変更などを調整してください。
<b>ドアを開けても警報しない</b> ・ホーネットが作動してから5秒待っていない	・ホーネットを作動して5秒経過してから確認してください。
<b>イグニッションをONにしても警報しない</b> ・ホーネットが作動してから5秒待っていない	・ホーネットを作動して5秒経過してから確認してください。

## 製品仕様

●電源電圧	D.C.12V
●平均消費電流(待機時)	約4mA(動作確認LED含む)
●平均消費電流(警報時)	約1A
●サイレン音圧	最大約128dB
●使用周囲温度	約-40℃～+85℃
●メインユニット外形寸法	約60×90×29mm
●質量	約62g

# アフターサービスについて

## アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用いただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
- ご登録いただけますと製品保証の延長など充実したサポートをお約束します。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いします。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://shop-security-lounge.com/shopdetail/000000000080/>



## 保証書について

- 製品保証書は本書に添付しております。ご購入の際には大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全管理上重要なものです。ご購入の際には本体に貼付されているシールに記載のシリアル番号をお確かめください。

## 修理を依頼されるときは

- 故障とお考えの前に、販売店・取付店または当社へご相談ください。
- 修理をご依頼の際は下記の事項をあらかじめ確認し、保証書と署名捺印済みの安全管理マニュアルの写しを必ずご提示ください。

- 1 製品名およびシリアル番号  
(例: HORNET 362V 0012345678)
- 2 故障の内容  
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ販売店、取付店の記載および署名捺印
- 5 お客様のお名前、住所、連絡先電話番号の記載および署名捺印
- 6 装着した車両の車種、年式、型式、車体番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年です。  
安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンスにより機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸与、部品交換費、出張費などは都度お見積りいたしますので、販売店・取付店までお問い合わせください。

## お問い合わせ先

# KATO-DENKI

加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

<https://kato-denki.com/support/contact/index.html>



## 《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口へ直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたは販売店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
  - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
  - 不当な修理、改造による故障および損傷
  - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
  - 自動車事故により発生した故障および損傷
  - 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
  - リモコン増設の場合
  - 本保証書のご提示がない場合
  - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
  - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点は、弊社カスタマーセンターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製造発売元

**KATO-DENKI**

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10